

第51回日本小児感染症学会

第51回学術集会レポート表彰式

研究委員会委員長

木村 宏

Young Investigator Award は学術集会に応募した会員で、筆頭著者が翌年4月の時点で40歳未満であり、まだ本賞を受賞したことのない方から、優れた研究を行い将来性の高い3名を選ぶものです。岡田雅彦委員長の下、研究委員会で事前審査した10名の中から、学術集会における発表と質疑を踏まえて、全ての理事と評議員が審査員となって最終選考を行いました。ただし、Pediatric Academic Societies (PAS) 年次集会での発表者を日本小児科学会へ推薦する締切日が本学術集会の開催よりも前になるため、YIA 候補者の中から英語での発表能力などを示す資料を元に1名のみは研究委員会で事前に選出し、自動的にYIA 受賞者の一人とし、残りの2名を学術集会当日の発表を受けて選出いたしました。受賞者へは副賞として、Asian Society for Pediatric Research (ASPR) などの国際学会に参加し研究内容を発表するための補助費として、10万円を贈呈いたします。なお、事前に選出したYIA 受賞者がPAS への推薦を受けることができた場合には、本学会からの副賞は出ません。

本年のYIA 受賞者と演題名は以下の通りです。

田中 沙紀先生 長崎大学 熱帯医学研究所 小児感染症学分野
「ベトナム出生コホートにおける先天性ジカウイルス感染の実態調査」

西村 謙一先生 横浜市立大学 発生成育小児医療学
「免疫抑制薬使用中のリウマチ性疾患患者に対する弱毒生ワクチンの前方視的研究」

芝田 明和先生 独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 小児科
「妊婦・新生児ペアで解析したB群溶血性レンサ球菌(GBS)の荚膜型とMLST解析」



YIA 受賞者3名

左から芝田 明和先生、西村 謙一先生、尾内一信理事長、田中 沙紀先生です。



田中 沙紀先生
(長崎大学 熱帯医学研究所
小児感染症学分野)

西村 謙一先生
(横浜市立大学 発生成育小児医療学)

芝田 明和先生
(独立行政法人労働者健康安全機構
横浜労災病院 小児科)

田中先生はPAS発表者推薦に選出されましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によりPAS2020の開催が中止となりましたため、本学会の助成を受け来年別の機会に発表される予定です。

次に、ポスター賞の表彰を行いました。こちらはYIAとは異なって年齢制限はなく、ポスターセッションの活性化や、YIAとは異なった観点から小児感染症研究に勤しむ会員を鼓舞することを目的としています。選出方法は以下の通りです。まず学術集会ポスター発表に登録された46演題の中から、橋本浩一委員長の下、研究教育委員会が11題の候補演題を事前に選出しました。学術集会初日、全ての理事および評議員が審査員となって、実際にポスターを閲覧して投票を行い、集計後得点の高かった以下の4名を選出しました。

以下、本年度のポスター賞の受賞者と演題名です。

谷田 けい先生 東京医科歯科大学 大学院 発生発達病態学分野

「 $\gamma\delta$ T細胞ならびにNK細胞へのEBウイルス感染が認められた種痘様水疱症」

山村 佳子先生 宮崎県立宮崎病院

「劇症型 Clostridioides difficile 感染症の乳児例」

高見 勇一先生 姫路赤十字病院 小児科

「軽症胃腸炎に伴うけいれんの臨床特徴」

米田 立先生 東京都立小児総合医療センター 感染症科

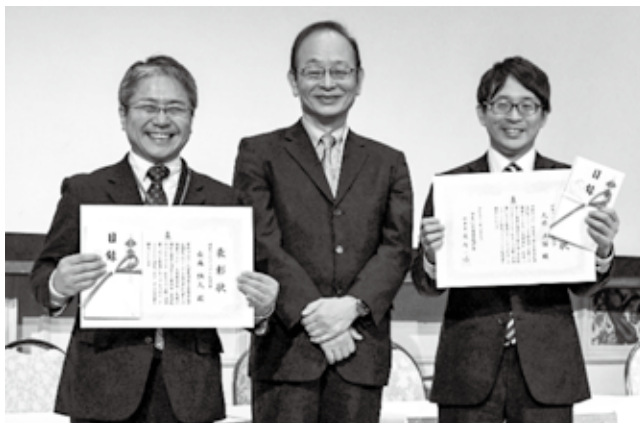
「小児血液腫瘍患者における多剤耐性グラム陰性桿菌菌血症の危険因子と予後の検討」

続いて、研究プロジェクト助成金の説明を致します。これは小児感染症・免疫にかかわる研究を奨励し援助することを目的に、平成18年度から開始しました。当初は研究奨励賞という名称でしたが、平成23年より名称変更しております。特に研究費の捻出が困難な一般病院や開業医の先生方の応募を強く歓迎し募集しているもので、受賞者には40万円の研究助成金が授与されます。義務として奨励



ポスター賞受賞者 4 名

左から米田 立先生，山村 佳子先生（代理：中谷先生），尾内 一信理事長，高見 勇一先生，谷田 けい先生です。今回より，過去にポスター賞受賞された方を除き，集計後得点の高かった方々を受賞者として選出しております。横浜市衛生研究所の七種 美和子先生が高得点を獲得し表彰いたしましたが，当日ご欠席でしたのでご報告とさせていただきます。



研究プロジェクト助成金受賞者 2 名

左から長森 恒久先生，尾内 一信理事長，大竹 正悟先生です。長森先生は本学術集会事務局で学会運営にも尽力されました。

金使途およびそれによる研究成果の概要を，学会誌において報告し，また研究成果は本学会学術集会においても発表していただきます。

市山高志選考委員長の下，厳正な審査を行い 2 名選出しました。本年の研究プロジェクト助成金受賞者と演題名は以下の通りです。

大竹 正悟先生 兵庫県立こども病院 感染症内科

「中枢神経感染症に対する抗微生物薬適正使用へ Multiplex polymerase chain reaction 検査が与える効果」

長森 恒久先生 旭川医科大学 小児科学教室

「IgA 血管炎急性期スコアの検証，確立に向けた多施設共同観察研究」